

# えがぶお

第38号

2020年  
5月15日発行

Kamiamakusa-city assembly report EGAO



**同級生チーム『目標は70歳までがんばること!』**  
“姫戸公園再生化プロジェクト8”の皆さん(当日は2名がお休みでした)

目次

- P1-4 3月定例会
- P5-7 常任委員会
- P8 発議・新型コロナウイルス対策
- P9-13 一般質問
- P14 視察研修・議会の動き
- P15 笑顔がキラリ・まちを歩いて

新型コロナウイルス感染症の  
終息に向け、今こそみんなの  
心をひとつに!!

がんばろう! 熊本!  
「平成28年熊本地震」  
私たちは忘れない!!



# 3月定例会

3月定例会は、2月13日(木)から3月16日(月)まで開催され、条例14件、当初予算11件、補正予算9件、承認1件、同意12件、議員提出議案2件、その他1件を審議し、すべての議案を原案のとおり可決しました。

## 条例制定・改正(全なもの)

### ★上天草市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について

現下の行政課題に対して的確に対応し、着実な成果重視の行政を推進することを目的として、行政組織を改編するため、総務企画部を総務部と企画政策部に改めるもの。



### ★上天草市パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

パートタイム会計年度任用職員に係る時間外勤務報酬の支給について、当該職員の勤務形態等に応じて、より適切に行うようにするため、関係規定を整備するもの。



### ★上天草市阿村地区交流センター条例の制定について

阿村地区交流センターの設置および管理に関し必要な事項を定めるため、条例を制定するもの。



### ★上天草市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について

成年被後見人であっても、意思能力を有する者は、印鑑登録を行うことができるとするもので、成年被後見人の権利の制限に係る措置の適正化等を図るため、印鑑登録の資格の要件に係る規定を整備するもの。



### ★上天草市上水道事業及び湯島簡易水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

上水道事業及び湯島簡易水道事業を一元化することにより、経営の効率化等を図るとともに安定した事業経営を行うため、関係規定を整備するもの。





# 一般会計当初予算 182億1,995万8千円

令和2年度一般会計予算をはじめ、7つの特別会計および3つの企業会計について審議を行い、全会一致で可決しました。今回は一般会計のうち、主な事業をお知らせします。



## ○消防施設整備事業（単独）

4,280万7千円

消防設備を計画的に整備することで、火災時における迅速かつ的確な消火活動につなげ、火災発生時の被害拡大を防止するもの。

## ○移住促進事業

2,200万2千円

移住相談アドバイザーによる移住検討者へのきめ細やかな相談対応や移住情報サイトによる情報提供、都市部で開催される移住相談会への参加等、さまざまな取組みを行うもの。

## ○公共交通等対策事業

1億3,716万6千円

市民等にとって重要な生活等インフラである公共交通の維持・整備を行うことで福祉の向上を図るとともに、高齢化社会に対応できる公共交通体系を構築するもの。

## ○ふるさと納税事務事業

3億3,196万7千円

寄せられた寄附金をふるさと応援基金に積み立てた後、①地場産業の育成、②観光振興、③教育水準の向上、④安心安全なまちづくり、⑤環境保全、⑥その他市長が特に必要と認める事業の財源として活用するもの。

## ○IT教育推進事業

6,701万2千円

児童生徒および教職員が使用する学校ネットワークやインターネット等の情報教育環境を整備することにより、教職員のICTの活用を促進するもの。

## ○総合スポーツ公園事業

5億2,062万3千円

大矢野総合スポーツ公園のグラウンドについて、施設の長寿命化・市民スポーツの場の環境改善、また、機能性を向上させることを目的として改修工事を実施するもの。



▲新図書館のイメージ図

## ○大矢野図書館建設事業

9,501万7千円

天草四郎公園の敷地内で、整備が急がれる図書館に上天草市の歴史資料等の展示ができるスペースを含めた施設の整備を行うもの。

## 農業制度利子補給事業

177万円

新型コロナウイルスの影響により経営の悪化した農家が借り入れる資金の利子を補助することで農家の負担を軽減するもの。

## 水産振興一般事務事業

130万2千円

新型コロナウイルスの影響により経営の悪化した漁業者が借り入れる資金の利子を補助することで漁業者の負担を軽減するもの。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止事業

1,100万円

新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策において、児童福祉施設等へ感染拡大を防止する観点から同施設が購入した備品等に対して補助するもの。



# 賛否表

主な議案などの賛否について、下記のとおり公表します。  
(議案名は一部省略しています)

議案番号	議案名	結果	表決数	木下文宣	何川誠	嶋元秀司	田中辰夫	何川雅彦	宮下昌子	高橋健	小西涼司	新宅靖司	田中万里	北垣潮	島田光久	津留和子	桑原千知	西本輝幸	園田一博	
議案第15号	令和元年度(平成31年度)上天草市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	15・0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	令和2年度上天草市一般会計予算	原案可決	15・0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	訴えの提起について	原案可決	15・0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第12号	上天草市副市長の選任につき同意を求めることについて	原案同意	15・0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	熊本県知事選挙の延期(投票繰り延べ)を求める要請書について	原案同意	10・4	○	●	●	/	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	上天草市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	14・1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 /欠席 -議長は除く

# 議案質疑

2月21日の議案質疑の一部を要約して掲載します。

## 上天草市阿村地区交流センター条例の制定について

**問** 土・日・祝日が休館日となった理由は。

**答** 現在、阿村開発センター内に出張所機能を併設している状況を踏まえ、公の施設と行政機関が併設する施設運営を基本に整備することとしてきたことから、休館日についても条例上規定することとしたものです。

## 令和元年度(平成31年度)上天草市一般会計補正予算(第7号)

**問** 食のグランプリ空き家改修補助金500万円の減額について、移住して店舗を開設する者がなく、減額補正となったとの説明だが、何が原因であると考えられるか。

**答** グランプリ優秀者となった事業者が希望する条件等に合う物件がなかなか見つからなかったことが要因だと捉えています。

**問** まちづくり事業推進助成金800万円の減額について、ハード・ソフト事業ともに実績件数がゼロとなっているが、その原因は。



**答** まちづくりの担い手となる人たちが減ってきていること、また、クラウドファンディングでの資金調達が受給条件となっていることで、実績件数が減ってきていると考えています。

## 令和元年度(平成31年度)上天草市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)

**問** 健康ポイント事業報償費545万円の減額について、事業参加者数、健康ポイント付与者数、ポイント未達者の状況は。

**答** 参加者数は200人、商品券等と交換することができる基準とした1000ポイントを達成した申請者数は122人です。また、ポイント未達成者については、参加者数から申請者数を除いた78人と認識しています。

## 令和元年度(平成31年度)上天草市天草四郎ミュージアム特別会計補正予算(第2号)

**問** 映像コンテンツ更新業務委託料395万8千円の減額について、人員不足が原因で事業が遅れたとのことだが、その原因は。

**答** 予定どおりに仕事が進まなかったこと、また仕様書の再検討に時間を要したことから、年度内に映像更新業務に必要な期間を確保できなかったことが原因です。

## 令和2年度上天草市一般会計予算

**問** 香港リーガルウェディングプロモーション業務委託料420万円について、委託先と事業効果をどのように見込んでいるのか。

**答** 委託先は、プロポータル方式により選定することとしています。また、香港からの外国人宿泊者数が増加していることから、インバウンドプロモーションの一つとして効果を見込んでいます。

**問** 高齢者等の生活支援事業のうち、地域おこし協力隊員活動報償費149万4千円について、隊員の活動内容は。

**答** 地域活動の担い手として活動する、有償ボランティア等の立ち上げを推進するのが役割です。

## 令和2年度上天草市介護保険特別会計予算

**問** あつぷあつぷサロンの地域別の開催状況、参加者数は。

**答** 平成30年度の実績では、大矢野町が24カ所・延べ4012人。松島町が13カ所・延べ1565人。姫戸町が5カ所・延べ639人。龍ヶ岳町が6カ所・延べ952人となっています。

**問** 事業の効果については、どのように分析しているか。

**答** 高齢者にとつて、閉じこもりの防止や介護予防につながっていると考えています。また、住民同士の顔の見える関係にもなり、地域の仲間づくりにもつながっており、効果的な事業であると認識しています。



# 常任委員会

本会議で委員会に付託された議案等について、常任委員会で審査しました。その経過と結果について報告します。

## 総務常任委員会

2月26日



### 上天草市阿村地区交流センター条例の制定について

**問** 今回の条例案では、休館日を設定してあるが、同類の施設である教良木河内交流センター条例には、休館日が規定されていない。双方の整合性をとる必要があるのではないか。

**答** 教良木河内交流センター条例は、平成17年度に制定されており、当時は休館日が規定されていない条例をベースに作られたと考えていま

(主なもの)

す。現在は、公の施設の休館日については規定を設けており、今回条例に盛り込んだところです。教良木河内交流センターについては、当該規定がなくても休館の判断は管理者の権限により行う事が可能であり、実質的に市民の施設利用に影響をおよぼしていないことから、今後、条例の改訂事由が生じた際に、休館日の規定の必要性を検討する事としていきます。



### 上天草市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 成年被後見人を、意思能力を有しない者に改めるとの事であるが、どのように解釈すればよいのか。



▲供用開始を待つ湯島交流施設を調査



▲改修し、再開した市立斎場を確認

**答** これまで、成年被後見人は印鑑の登録をする事ができなかったが、条例の改正により、法定代理人が行い本人からの申請があれば、意思能力を有する者として申請する事ができるようになります。

## 経済建設常任委員会

2月27日



### 訴えの提起について (千歳山園地の土地明渡請求事件)

**問** 千歳山園地の市が所有および占有する土地に、市の承諾を得ずに被告が苗木を植樹し、不法占有しており、対話による和解の可能性が見えないことから、今回、議案として提案したとのことだが、どうにか話し合いで解決することはできないのか。

**答** 被告と話をする中では、和解するような雰囲気ではないと感じています。和解ができれば一番良いと思いますが、難しい状況です。

**意見** 今、ツツジ等が植栽されているが、10年後には大きくなり、景観が悪くなる可能性がある。せっかく周辺の道路や展望所も作り、整備が進んでいるなか、この問題をそのままにしておくべきではない。早く解決しなければならない。

## 文教常任委員会

2月25日

可決

上天草市水道事業及び湯島簡易水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 湯島簡易水道事業については、国の補助金を受け事業を実施してきたが、水道事業との統合後、補助金は受けられるのか。また、水道料はどのように変わるのか。

**答** 水道事業との統合後も県の補助金は受けられることを確認しています。また、水道料に関しては令和元年10月に水道事業の基準に合わせ、料金改定を行ったところです。

**問** 水道料金が上がったことで住民の負担が増えたことになるが、事前に統合に関する住民説明会は実施したのか。

**答** 事業を統合するという説明は実施していませんが、料金改定後、現在までクレームを含めた地域からの意見は届いていません。



▲改修する大矢野総合運動公園を確認

上天草市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

可決

**問** 今回の改正により、住民にどのような影響があるのか。新たな負担が出てくるのか。

**答** 負担の程度はケースバイケースで異なるため、負担が増加するか否かは判断できません。

## 予算決算常任委員会

2月21日・3月11日

可決

令和元年度（平成31年度）一般会計補正予算（第7号）

**問** 普通交付税決定額が、当初予算額に対し3億9540万円の減額であるが、大幅な減額になった理由は。

**答** 平成30年度に返済した合併特例債約2億5千万円および過疎債約9千万円等が交付税の試算に反映されなかったためです。

**問** 災害集団移転地財産処分事業の不動産鑑定評価業務が、当初予定の120件に対し、実績が25件であるが、減少した理由は。

**答** 対象者が高齢化していることや、今後、改修等による土地の活用を考えていないこと、また売り払い単価が高額であるためと分析しています。

**問** 市道永浦樋合2号線道路改良工事の不用額について、補正予算の積算は適正だったのか。

**答** 9月議会においてさまざまな危険性を考慮し、7千万円を増額補正しました。しかし、最終的に安全性が確認され、その分を施工せずに済んだことから、減額となったところです。

**問** 介護基盤緊急整備特別対策事業補助金及び介護施設開設準備経費助成事業補助金の減額は、民間事業者の人材不足が応募のない理由のことだが、事業者への聞き取りは行ったか。また、今後の対策は。

**答** 聞き取りは行っていません。本事業は令和2年度まで実施するため、今後、事業者へ説明を行うなど、申請を促す働きかけに努めます。

**問** 中南小学校屋内運動場大規模改修工事は、国の補正予算に伴い前倒しすることだが、工事期間はどの程度短縮できるのか。

**答** 入札から発注までの期間を1、2か月程度短縮でき、工事期間は約1年間を予定している。

令和元年度（平成31年度）上天草市斎場特別会計補正予算  
（第3号）



**問** 斎場大規模改修工事で約1億5千万円の大幅な減額の理由は。

**答** 熊本地震の影響による技術者の不足や人件費の増額、資材価格の高騰など概算工費を割り増して計上したことで、実績額との差額が生じたためです。

令和2年度上天草市一般会計  
予算



**問** 宮津地区開発調査検討事業について、将来構想策定検討委員会の委員はどのような人を選定するのか。

**答** 委員の構成は、市議会、商工会、観光関係等、15名程度の外部有識者で立ち上げたいと考えています。



▲維和地区に設置してある大型囲い罠

**問** 地域の魅力ブラッシュアップ事業（じぶん学舎事業）については、姫戸および龍ヶ岳地区の振興を図る事業と捉えるが、具体的な内容は。

**答** 地方創生の取り組みを姫戸、龍ヶ岳地区にも広げていくための新規事業で、地域住民や有識者によりワークショップを開催し、テーマを見つけ、事業化につなげる計画です。

**問** 大型囲い罠管理業務委託料に囲い罠の扉を開閉する管理費は含まれるか。

**答** この管理業務委託料については、囲い罠に設置しているセンサー

の管理費用であり、扉の開閉をお願いしている地元に対しての費用は含まれていません。

**問** 管理がうまくできていなかったと思うが、令和2年度はどのように取り組むのか。

**答** イノシシの捕獲は地域の協力がないと効果が得られないことから、管理している方と定期的な会合を行って、今後取り組んでいきます。

**問** 市道舗装工事は、市民から要望された箇所を主に改修するのか。

**答** 今後の施工予定は、要望箇所と職員巡回による必要箇所を合わせ90箇所と積算しています。また、一旦舗装改修を行うと15年から20年は問題ないと思われます。合併後、施工した区間を改修した実績はありません。

**問** 大矢野総合スポーツ公園グラウンド改修工事費4億9401万9千円の内訳は。

**答** 主な事業費の内訳は、基盤整備に2615万円、植栽に1137万円、排水等施設整備に5579万

円、土の入れ替え、芝の張り替えおよびバックネット改修に1億7717万円、構造物撤去等に1869万円を試算しています。



令和2年度上天草市国民健康  
保険特別会計（事業勘定）予算

**問** 生活習慣病健診委託料86万6千円について、何人分を予算計上しているのか。また、市外在住の学生も対象となるが、受診勧奨はどのようにして行うのか。

**答** 集団健診101人に加え、新たに追加した個別健診を30人と想定し、合計131人分を計上しています。市外学生への勧奨については、未受診者に対し、受診を促す文書を発送する予定です。

**問** 健康ポイント事業報償費について、参加者を増やすための対策は。

**答** 健康ポイントのスタンプ台紙を全対象者に配布する予定です。これにより、申請が不要となり、参加者増加に繋がると考えています。



# 議決

## 議員提出議案2件を賛成多数で可決！

「熊本県知事選挙の延期（投票繰り延べ）を求める要請書について（提出者・新宅靖司議員、田中辰夫議員）」および「上天草市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（提出者・島田光久議会運営委員長）」の議員提出議案を審議し、賛成多数で可決しました。

熊本県知事選挙の延期（投票繰り延べ）を求める要請書について（議決後、熊本県選挙管理委員会に提出）

### 要請書の要旨

新型コロナウイルス感染症の感染が日本各地に広がり、感染拡大防止に国、地方、民間を挙げての対応が求められている。

このような中、熊本県知事選挙が、3月5日告示、3月22日投票予定とされているが、現在の感染状況の推移からすると、その告示前あるいは投票前までに終息すると想定することは到底できない。

現状では、不特定多数の参加者が見込まれる集会ができないことにより、選挙人が選挙に必要な情報が得られないことや、投票率が激減せざるを得ない

状況が予想される。

新型コロナウイルス感染症による感染が終息するなど、選挙に必要な情報を自由に不安なく確保できる状態となり、また、安心して投票所に向き投票できる状態となるまで、投票を繰り延べることを要請する。

上天草市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

### 改正の内容

上天草市特別職報酬等審議会からの特別職の報酬等の額および期末手当の支給の月数に係る答申を踏まえ、上天草市議会議員の期末手当の支給割合を「100分の145」から「100分の160」に改めるもの。

## 新型コロナウイルス感染症に対する本市議会における対応について

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、熊本県内においても多数の感染者が確認されており、感染拡大防止に国、地方、民間を挙げての対応が求められています。

このような状況から、本市議会においても今後の定例会等の運営にあたり、リスク管理を徹底する必要があることから、対応策について、次のとおり決定しました。（抜粋）

- 本会議場等の適切な換気等  
本会議場や委員会室などの換気を徹底する。また、ドアノブ等の消毒を定期的実施する。
- 手指衛生の徹底  
傍聴人を含む本会議場等への入場者は、入室の際、特別な事情がある場合を除き、消毒液による手指消毒を行う。

- マスクの着用  
本会議場等において、議員および職員等はマスクを着用する。
- 傍聴者対応  
受付の際、マスクの着用およびアルコール消毒を要請するとともに、手洗い・咳エチケットの啓発を行う。  
体調不良の申告があった場合は、傍聴自粛を要請する。
- 議員および執行部（説明員）が、新型コロナウイルスの感染者または濃厚接触者と認定を受けた場合は、保健所や医療機関等の指導に従い出席停止とする。併せて本会議場等への入場状況の有無を確認する。また、その後の議会運営については、議会運営委員会において、日程変更も含め対応を協議する。

# 一般質問



3月定例会では7人の議員が一般質問を行いました。

日程	議員氏名	質問事項
2 / 28	北垣 潮	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 天草四郎ミュージアムの入館者数増に関する提案について</li> <li>▶ 樋島外平海岸について</li> <li>▶ 新型コロナウイルス及びインフルエンザ対策について</li> <li>▶ 大道瀬子浦への土砂投入とSDGs14（海の豊かさを守ろう）について</li> </ul>
	西本 輝幸	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 合津川改修事業について</li> <li>▶ 合津地区排水整備事業について</li> </ul>
	宮下 昌子	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 施政方針について</li> <li>▶ 住民健診について</li> <li>▶ 龍ヶ岳町大道地区瀬子浦の土砂問題について</li> </ul>
	新宅 靖司	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ごみ処理施設及び収集・運搬について</li> <li>▶ 前島地区総合開発事業について</li> </ul>
3 / 3	島田 光久	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 健康予防と健康増進施策について</li> <li>▶ 農作業が健康増進に与える効果について</li> </ul>
	何川 雅彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 施政方針について</li> <li>▶ 妊婦健診等について</li> <li>▶ 予防接種の再接種が必要な子どもへの支援について</li> <li>▶ 東京オリンピック・パラリンピックへの支援について</li> <li>▶ 新図書館に併設される資料室について</li> </ul>
	田中 万里	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ G I G A（ギガ）スクール構想の実現について</li> <li>▶ 登立小学校創立150周年について</li> </ul>





北垣 潮 議員



## 瀬子浦の土砂は竹島に持って行きましょよ



## 原状回復に向けてしゅんせつ土も排出します

**北垣** アサリの専門家である県立大学の堤裕昭先生に話を聞いたところ「150ミクロンから250ミクロンを細砂といい、250ミクロンから500ミクロンを中砂、またこれが8割から9割なくてはならない。定期的にこの砂を入れなければならぬ。よって、しゅんせつ土はアサリ養殖には向かない。床堀土はせめて1ミリぐらいにふるいをかけて入れなければならぬ」と言われました。残土の量が1万3498立方メートル。これが処理場の許容を超えるため、瀬子浦に持ってきた、とあります。今回、竹島に行き、ドローンで撮ってみました。18万立方メートル入るといふ話でありました。牛深方面の海域や有明海からも土砂を持ってこられるそうです。瀬子浦の土砂を竹島に持っていけば、瀬子浦の海もよみがえり、今まで千年以上続いてきた自然環境を、土砂を取り除くことで持続できると思います。豊かな海を取り戻すために竹島に持って行きましょよ。

**経済振興部長** 竹島に入れる話もあつたそうですが、処分にかかる経費が相当かかるという事でも入れなかつたという話を聞いております。

**北垣** 確かに、経費を一番に考慮されたと思うが、美しい自然環境、魚がとれる海、それが大切だ。汚い海であれば魚もおいしくないのではないかと。市長も施政方針にSDGsの考え方を盛り込みながらと言われた。

**市長** 昨年12月に地元の方々が陳情にいられて、お答えした事が全てだと思います。お気持ちも十分伝わりましたので原状回復に向けてやれることをやっていきたいと考えています。しゅんせつ土も排出する事になると思いますし、私も竹島に持っていくのが一番じゃないかと思っています。



▲竹島土砂処理場（ドローンで撮影）



西本 輝幸 議員



## 合津川改修事業は可能なのか



## 早期の整備計画策定に向け県と共に進めてまいりたい

**西本** 合津川改修事業については、旧松島町時代から懸念された事業であるが、上天草市として合併してから16年になるが、いまだに河川改修事業実施計画も作成されていない。執行部はどのように考えているのか。

**建設部長** 合津川は、熊本県が管理する2級河川です。改修事業についても県の事業とすることから、これまで県に改修の実現に向けて何回も要望を行ってきました。県においても、一生懸命に取り組まれている状況ではありますが、合津川改修以外に関連するさまざまな課題があることから、これまで合津川改修事業の実施ができなかつたところです。引き続き早期の整備計画策定へ向け、県とともに進めて参りたいと思います。



▲整備が望まれる合津川

**西本** 平成23年3月議会において、当時の川端市長が合津川の整備がなされない限り松島地区の基本的な発展はないと発言されているが、市の積極的な姿勢が見られないと感じる。

**市長** 基本的には2級河川なので、川については県が事業主体となっています。排水機場2基と樋門については、市で管理するのが県のスタンスです。令和3年度以降、国土交通省も強靱化計画、防災減災に向けて予算確保に向けて動いて行くものと思います。





# 姫戸・龍ヶ岳地域での新たな取り組みとは



宮下 昌子 議員

## A 地域参加型のワークショップで『地域おこし協力隊』を活用

**宮下** 『施政方針』で述べられた姫戸・龍ヶ岳地域で、地域おこし協力隊を活用した新たな取り組みとは。

**総務企画部長** 令和2年度では、地域の魅力を見つけ出し、担い手の育成を目的に、地域参加型のワークショップを計画しています。

**宮下** 地域の方を選ぶ基準は、**総務企画部長** 公募も一つの手段ですが、地域の役員の方をお願いする部分も出てくるかと考えています。

**宮下** 地域の課題には、福祉・保育現場での人材不足や家庭菜園でも耕作放棄地が増えているなどある。家庭菜園の野菜は、まとめる人がいれば、学校給食にも利用できると思う。地域おこし協力隊の募集はどのようにされるのか。

**総務企画部長** ワークショップで出た具体的な案によって、年度末から公募に入り、令和3年度からの活用となります。**宮下** 姫戸・龍ヶ岳地域の活性化については、これまで何度も取り上げた。市長は「4町の均衡ある発展については

できたと思っていない」と答弁されている。

やつと動き出すというところで、期待している。

### 【住民健診について】

**宮下** 特定健診の受診状況は、**健康福祉部長** 昨年度が1397人、今年度は1359人で横ばいと分析しています。

**宮下** 『健康ポイント事業』は、どうだったのか。

**健康福祉部長** 1310人の参加を見込んでいましたが、200人とどまりました。アンケートの結果から、申請方法の改善、商品券の種類の拡充、ポイント未達成者に対する対応、周知方法に課題が残ったと認識しています。

**宮下** 委員会で視察に行った日置市では、保健推進委員を設置し未受診者を訪問し、受診率の向上、医療費の削減に取り組んでいる。ぜひ参考にしたい。



# ごみの収集・運搬、負担が大きくなるのでは



新宅 靖司 議員

## A ストックヤードを設ける必要がある

**新宅** 現在、天草広域連合では、ごみ処理施設を一つにする計画が進められているが、その経緯は。

**市民生活部長** 天草管内においては「熊本県ごみ処理広域化計画」に基づき、現在5カ所の処理施設が稼働していますが、各施設とも老朽化が進んでいる事を鑑み、1カ所に集約することとし、現本渡地区清掃センター周辺を新ごみ

**新宅** 新ごみ処理施設が完成した場合、上天草市の収集・運搬計画はどのように変化するのか。

**市民生活部長** 新ごみ処理施設については、現本渡地区清掃センターの周辺に建設されるため、本市からの運搬距離が延び、収集運搬に要する時間も増大する事が懸念されます。これに伴い「ごみ収集運搬委託料」の増額が予想される事から、新ごみ処理施設が完成するまでの間に、実情に合わせた効率的な収集運搬体制の構築を目指す意向です。

**新宅** 新ごみ処理施設が本渡の楠浦に完成すると、大矢野庁舎から50キロメートルとなり、運搬費用が大きくなることから、松島清掃センターをストックヤード（仮置き場）として利用できないか。

**市長** 現松島清掃センターが年間約1万台、本渡地区清掃センターが年間約50万台ありますので、混雑をしないようにストックヤードを設ける必要があると思っており、松島清掃センターを候補地の一つとして考えています。



▶松島地区清掃センター



島田 光久 議員



## 地域の景観保持と市民の健康増進は



### 家庭菜園、市民農園の推進施策で

**島田** 本市の農家世帯数、また農地を持っていて農業に携わっていない世帯数と現状の放棄農地の状況は。

**経済振興部長** 平成27年の農家世帯数は専業農家が207戸、兼業農家が222戸となっています。農地を持っている方で非農家は2302世帯です。荒廃農地は平成30年度のデータ分析で単純に割ると62・5%ということになります。

**島田** 農業と健康のエビデンス調査、検証によると、農業は、高齢者における健康、精神的に身体機能予防効果があると示唆されており、農業者率が高いほど老人医療費が低くなっている。適度な農作業が健康維持を果たす役割をもつと期待されている。また、福祉施設、医療機関でも障がい者、高齢者のリハビリとしての活用が増えている。健康増進のため、今後、空き家、空き地、耕作放棄地はどんどん増えていくので、地域の景観保持を含め、健康増進のために家庭菜園、市民農園の普及、推進を市の施策として取り入れてはと考えるが。



**市長** 農業は体を動かす仕事ですので、健康を増進するという意味では、適度な農業に参画するというのは非常にいいことだと思います。

農地を多くの方に提供して利用していただくという、地権者に決断していただくのが条件になると思います。それが全部揃えば取り組みとしては、非常におもしろくなると思います。

**島田** 土地が荒れていく天草の現状を見ると、現状維持で後の世代に繋いでいく責任がある。できることが大切でも保全していくことが大切と思うので、前向きに施策として取り組んでもらいたい。



何川 雅彦 議員



## 少子化に対応した命を育む政策を



### 要望がある前に対応を考えていく

**【妊婦健診制度について】**

**何川** 一般的には14枚の妊娠健康診査受診券の無料券で足りるとされているが、それ以上は個人負担となる。予定日を過ぎた妊婦が15回目以降も安心して健診を受けられるようにすべきではないか。

**健康福祉部長** 毎年度、熊本県医師会と各圏域の代表市町村との協議によって決定されています。今後、意見交換をしながら検討していきます。

**何川** 本市における妊婦歯科健診の内容および公費負担の現状は。

**健康福祉部長** 市内歯科医療機関と委託契約を締結し、全額公費負担で歯科健診を実施しています。受診率は平成30年度で58・6%であり、さらなる受診率の向上を目指して保健師による個別電話勧奨を行っていると思います。

**【予防接種の再接種が必要 な子供への支援について】**

**何川** 小児白血病や小児がん等に罹患し、骨髄移植手術や抗がん剤治療により抗体が失われれば、再接種が必要となる。しかし、初回定期接種が無料であっても、再接種費用

は全額自己負担となり、患者を抱える家庭の精神的、経済的な負担が大きくなる。少子化が加速する中、命を守る政策であると思う。このような支援への今後の取り組みについての見解を。

**市長** 医療は進めば進むほど、その後のケアに対して行政としても考えることがたくさん出てくると改めて感じます。稀なケースであり、部長の答弁では今のところ、市民からのご要望はないが、妊婦の方の15回目以降の健診も含めて、子育てしやすいまちを本市のスローガンに掲げて、移住定住施策を行っていきます。今後、市の住みやすいイメージアップを考えると、要望がある前に対応を考えるのは、一つの方法だと思えます。庁内でのいろんなケースを想定して我々がやれることを前向きに考えていきます。



▲定期接種対象ワクチン全てを受け直すと、10万円以上の費用が生じる。再接種費用を独自に助成する自治体は平成30年7月時点で、約5%だったが、令和元年より佐賀県、福岡県内の16市町が助成に乗り出している。



# Q ギガスクール構想に向けての今後の工程は



田中 万里 議員

## A 令和4年度まで全ての小中学生にタブレットを配置する

**田中** ギガスクール構想に向けての今後の工程は、

**教育部長** 令和2年度には、ネットワーク整備事業において、全ての稼働教室を高速無線LAN化し、各クラスに充電保管キャビネットを配置し、令和3年度から令和4年度にかけて、タブレットを全ての教職員と中学生に配置する予定です。また、令和3年度から令和4年度には、全ての小学生へタブレットを配置する計画です。

**田中** 今後の学校現場は、私たちの時代と違った授業の進め方など、さらなるICT教育が加速するのではと感じている。

イギリスのオックスフォード大学のオズボン助教は、今後10年間から20年間の間に、現在アメリカにある職業の47%がコンピューターに取って代わると予想していると述べておられる。ニューヨーク市立大デビットソン教授も、2011年に小学生になった子どもの65%は、将来、現在存在していない職業につくと

予想されています。

現在の状況とは大きく変容する将来の社会の中で、今の子どもたちが世の中の中心を担っていく時代が来る10年先を見据えて学習指導要領が改訂されたわけだが、それに合わせて、上天草市教育委員会としても、未来を切り開いていける子どもの資質、能力の育成と、どんな時代でも生き抜ける力につながるような上天草市独自の魅力ある教育行政を目指していただきたいと私は願っている。ぜひとも、そうなるよう、高倉教育長のリーダーシップの中で行っていただければと思う。



## 新型コロナウイルス感染症に対する体制の強化を文教厚生常任委員会を開催

日本国内外の新型コロナウイルス感染者の拡大により、市民の生活が心配されるなか、感染症対策の現状と今後の対応について調査するため、4月7日（火）、文教厚生常任委員会を開きました。

今回の調査事項は、本委員会の所管部門における

- 市新型コロナウイルス感染症対策本部の動き
- PCR検査および患者受け入れの態勢等
- 市が管理する公共施設の対応

以上の3点で、執行部への聞き取りを行いました。

市対策本部の動きとしては、週1回程度の会議実施をはじめ、全職員の行動計画の確認、市が主催するイベント開催についての検討など、可能な限りの感染予防を徹底していること。

PCR検査および患者受け入れの態勢等については、保健所が指示する医療機関で検査を受け入れる状態を整えていること。

公共施設については、国や県の方針に沿う施設と市独自で判断する施設に分けて対応し、国や県内外の状況を注視しながら、施設の性質に合わせ、適切な判断を実施していること。

これらの項目を確認しました。

委員から「市対策本部のメンバーに専門家を入れる必要はないのか」「PCR検査の費用に関するものなど、感染症における情報を積極的に周知してほしい」などの意見が出されました。





# 「ICT教育の推進で子どもたちの学びを深めよう」

## — 文教厚生常任委員会行政視察 —

文教厚生常任委員会では1月27日、28日の2日間、行政視察を行いました。

27日は、鹿児島県日置市で取り組んでいる、特定健康診査（特定健診）の受診率向上のため



▲ ICT教育の現場を視察

の施策を視察しました。同市は市民の健康維持および医療費削減を目指すため、健康づくり推進条例を制定。市職員などが一丸となり、受診率の大幅な向上に成功しています。

28日は、山江村が力を入れている「学校ICT教育」の現状について視察。同村では、平成23年度から、時代に柔軟な対応ができる人材を育成するため、村内の全児童生徒にタブレット端末を持たせ、授業を行っています。

個人での学びや集団での対応、英語学習等の充実により、学力が向上し、さらには教職員の働き方改革にも寄与しています。

委員から「本市にもぜひ取り入れたい教育環境であり、整備を早急に行うべき」との意見が出されていました。

## 議会の主な動き

### 2月

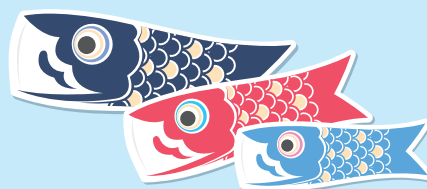
13日～3月16日  
市議会第1回定例会

### 4月

9日 第272回熊本県市議会議長会（阿蘇市）  
17日 上天草市奨学生選考委員会

### 3月

23日 天草ジオパーク推進協議会（天草市）  
24日 天草パーラインマラソン組織委員会  
27日 市用地等価格評価審議会



## 議会だより「えがお」へのご意見・ご感想を募集します

広報委員会では、議会だより「えがお」に対する皆さまのご意見・ご感想を募集します。

皆さまのご意見等を参考に、市議会をより身近に感じていただけるよう、紙面のさらなる充実をめざしますので、よろしくお願ひします。

■応募方法 ハガキ、封書、メール、ファックスによりお送りください。

■記入事項 ①住所 ②氏名 ③電話番号 ④ご意見・ご感想

■宛先 〒869-3692 上天草市大矢野町上1514

上天草市議会事務局

FAX：0964-56-4936 E-mail：gikai@city.kamiamakusa.lg.jp

■お問い合わせ先 上天草市議会事務局 TEL：0964-26-5536



# 笑顔が やうやう

鯉のぼりに見守られ  
すくすくと育っています

緒方 <sup>はる</sup>悠ちゃん  
(龍ヶ岳町大道)  
父 緒方駿也さん  
母 美祐さん

## 龍ヶ岳町



# まちを歩いて...

## 松島町

### こうしきざえもん 孝子喜左衛門の碑



昔、松島町今泉（西運寺横）に喜左衛門という親孝行なお百姓がいました。喜左衛門は貧しく、人の上に立つような身分でもありませんでしたが、税を納める事については滞る事はありませんでした。このような行いから、人々はその素直な性格を褒め称えました。

当時、この地方を治めていた松平主殿忠房公の耳に入り、島原城においてお褒めの言葉と白銀三枚を賜りました。

現在も、毎年4月29日には慰霊祭および今泉地区の80歳以上のお年寄りを招き、敬老会が行われています。

次の定例会は

**6月1日開会です。**

ぜひ傍聴にお越しください

詳しくは議会事務局へ 0964-26-5536

## 編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、ほとんどのイベントが中止となり、学校は臨時休校となりました。今、一人ひとりが手洗い、うがい、マスクなど、体調管理をしっかりとし、自らを守りましょう。密集地に行かないようにし、ウイルス拡散の速度を抑え、薬やワクチンが開発されるまで時間をかせぎましょう。免疫力が若い人より弱い高齢者を敬い力になりましょう。日本の感染者は（3月27日現在）2226人と微増ですが、アメリカは10万4千人になりました。3月2日にはアメリカは88人で、日本は980人でした。決して油断してはいけません。

観光立市上天草、観光業、飲食店の皆さん大変でしょうが力を合わせ頑張ってくださいませ。ALL for ALL（みんながみんなのために）  
(北垣 潮)

### 上天草市議会 広報編集委員会

委員長	津留 和子
副委員長	何川 誠
委員	北垣 新宅 靖司
	島田 光久
	桑原 千知